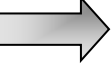
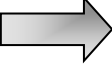
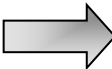
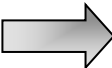
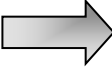
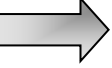


愛知県経済の現状と見通し＜2025年5月＞

1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	水準評価 ※1	基調判断(前月比較)※2	
				詳細
総括判断	景気の現状	 		緩やかに持ち直している 住宅投資や公共投資に弱さがみられるものの、県内景気は緩やかに持ち直している。
家計部門	個人消費	 		緩やかに増加している 百貨店販売額は5か月連続の前年比増加
	雇用			概ね横這いで推移している 有効求人倍率は3か月連続の前月比上昇
	住宅投資			弱含んでいる 住宅着工戸数は3か月ぶりの前年比増加
企業部門	企業活動			足踏み 鉱工業生産指数は3か月連続の前年比上昇
	企業倒産			悪化しつつある 企業倒産件数は2か月ぶりの前年比増加
海外部門	輸出	 		緩やかに増加している 名古屋港通関輸出金額は5か月連続の前年比増加
公共部門	公共投資			持ち直しの兆し 公共工事請負金額は2か月連続の前年比増加

当面の見通し	緩やかに持ち直す見通し
	インバウンド需要の回復が期待され、景気は緩やかな持ち直しが続くと思われる一方、物価高や海外経済の減速による景気下押し圧力が強まる可能性も。

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、

:晴、|:晴～曇、:曇、|:曇～雨、:雨、を示す。

※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、

:上方修正、:据え置き、:下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)

したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

お問い合わせ先	三十三総研 調査部 中野
	電話:059-354-7102 Mail: 33ir@33bank.co.jp

2. 個別部門の動向：家計部門

個人消費	水準評価		 		
	基調判断	前月比較	➡	詳細	緩やかに増加している

《现状》

○個人消費は、緩やかに増加している。

○個人消費の動向を支出側からみると、3月の消費支出(勤労者世帯、名古屋市)は、前年比+50.3%と2か月連続の増加(図表1)。授業料の増加を主因に教育費が上振れ(同+981.2%)たことに加え、自動車購入費の上振れによる交通・通信費の増加(同+15.9%)が寄与。

○個人消費の動向を販売側からみると、3月の百貨店販売額は、前年比+0.6%と5か月連続の増加。ラグジュアリー・ブランド、宝飾品、化粧品などが堅調に推移。スーパー販売額も同+3.9%と5か月連続の増加(図表2)。商品の値上げに伴う客単価の上昇が寄与したほか、4月からビールなどが値上げする前に買いだめの動きがみられた。

○4月の新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)は、前年比+9.2%と4か月連続の増加(図表3)。内訳をみると、普通車(同+1.1%)、小型車(同+8.9%)がそれぞれ4か月連続、軽乗用車(同+26.2%)が5か月連続で増加。前年同時期に認証不正の影響を受けていた反動が一因。

《見通し》

○インバウンド消費は堅調に推移することや、雇用、所得環境が改善することを背景に、増加基調の継続が期待される。一方、物価上昇の影響による節約志向の高まりから、増加ペースが鈍化する懸念も。

◆3月 勤勞者世帯・消費支出(名古屋市)

前年比+50.3%(2か月連続の増加)

- ・交通・通信費:前年比+15.9%(2か月連続の増加)
- ・教育費:前年比+981.2%(5か月連続の増加)

◆3月 大型小売店販売額

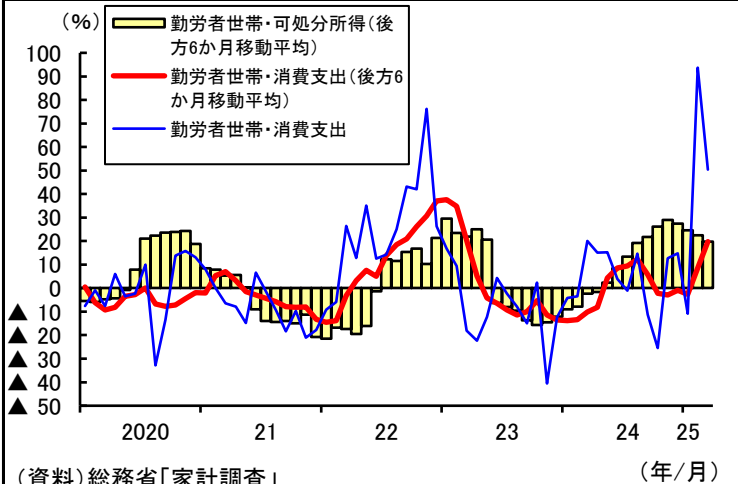
- ・百貨店:前年比+0.6%(5か月連続の増加)
- ・スーパー:前年比+3.9%(5か月連続の増加)

◆4月 新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)

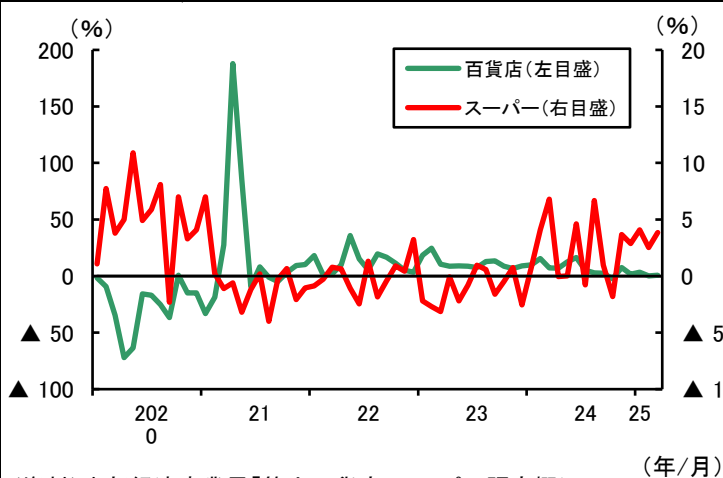
21,115台 前年比+9.2%(4か月連続の増加)

- ・普通車 10,474台
前年比+1.1%(4か月連続の増加)

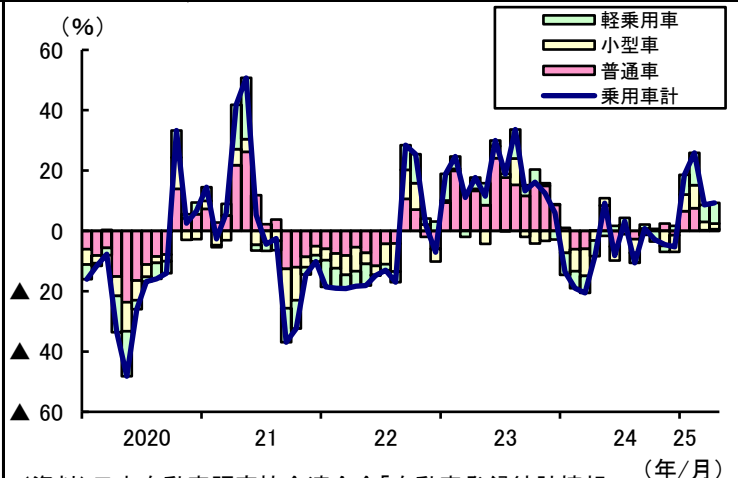
図表1 名古屋市・消費支出等＜前年比＞



図表2 大型小売店販売額＜前年比＞



図表3 新車乗用車販売台数＜前年比＞



雇用	水準評価		⇒	詳細	概ね横這いで推移している
	基調判断	前月比較			

《現状》

- 雇用は、概ね横這いで推移している。
- 3月の雇用環境をみると、有効求人倍率は1.32倍（前月差+0.03ポイント）と3か月連続の上昇。一方、新規求人倍率は2.41倍（同▲0.16ポイント）と3か月ぶりの低下（図表4）。新規求人数は前年比▲4.1%と4か月連続の減少。業種別にみると、卸売業・小売業（同▲9.1%）やサービス業（同▲7.8%）が減少。

《見通し》

- 原材料価格や人件費の高騰を受けて求人を控える動きが広がっている一方、インバウンドの回復などを背景に、非製造業を中心として人手不足感は深刻化。こうした動きを受け、雇用関連指標は一進一退で推移する見通し。

◆3月 求人倍率(季節調整値)

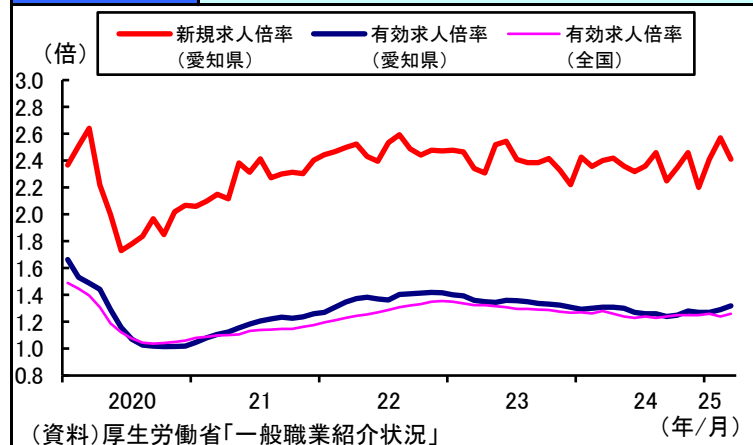
- ・有効求人倍率:1.32倍
前月差+0.03ポイント(3か月連続の上昇)
- ・新規求人倍率:2.41倍
前月差▲0.16ポイント(3か月ぶりの低下)

◆3月 新規求人数(原数値)

- ・前年比 ▲4.1% (4か月連続の減少)

図表4

有効・新規求人倍率＜季節調整値＞



住宅投資	水準評価		⇒	詳細	弱含んでいる
	基調判断	前月比較			

《現状》

- 住宅投資は、弱含んでいる。
- 3月の住宅着工戸数は、前年比+14.3%と3か月ぶりの増加（図表5）。利用関係別にみると、分譲住宅（同▲20.2%）が3か月連続で減少した一方、貸家（同+40.6%）、持家（同+46.6%）が3か月ぶりに増加。建築基準法及び建築物省エネ法改正を前にした駆け込み着工の発生が背景。

《見通し》

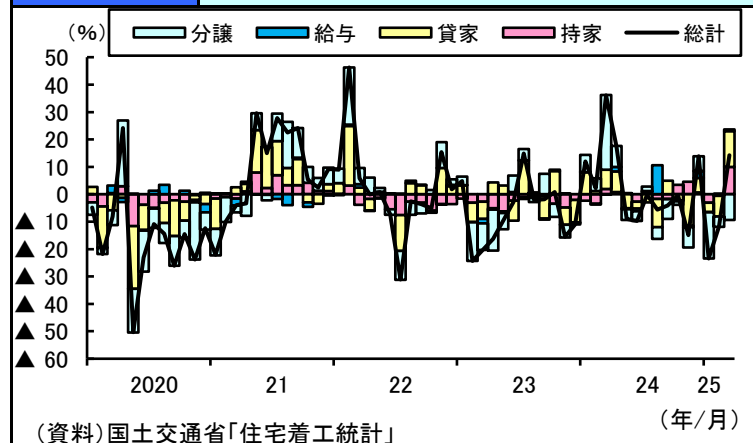
- 先行きは、人件費や建築資材の高騰に伴う住宅価格の高止まりや、住宅ローン金利の上昇懸念が住宅投資の抑制要因となり、新築住宅投資の低迷は持続する可能性も。

◆3月 住宅着工戸数

- 6,658戸 前年比+14.3% (3か月ぶりの増加)
- ・持家:1,819戸
前年比+46.6% (3か月ぶりの増加)
 - ・貸家:2,641戸
前年比+40.6% (3か月ぶりの増加)
 - ・分譲:2,155戸
前年比▲20.2% (3か月連続の減少)

図表5

新設住宅着工戸数＜前年比＞



3. 個別部門の動向: 企業部門

企業活動	水準評価		⇒	詳細	足踏み			
	基調判断	前月比較						

企業倒産	水準評価		→	詳細	悪化しつつある
	基調判断	前月比較			

《現状》

○企業倒産は、悪化しつつある。

○4月の県下倒産状況(負債総額1,000万円以上)をみると、倒産件数は52件(前年比+11件)と2か月ぶりの増加。負債総額は58億円(同+17億円)と2か月ぶりの増加(図表7)。

《見通し》

○「ゼロゼロ融資」利用後の倒産は、2023年1月開始の「コロナ借換保証」など、金融機関の柔軟なリスク対応によって減少の動きも見られる一方、支援策の副作用で生じた過剰債務など、根本的な問題は解消していない点に留意が必要。物価高や人件費の上昇などコスト負担が増加しており、収益悪化が続くと企業倒産は増勢基調をたどる懸念も。

◆4月 企業倒産

- 倒産件数:52件
前年比+11件(2か月ぶりの増加)
- 負債総額: 58億円
前年比+17億円(2か月ぶりの増加)

図表7

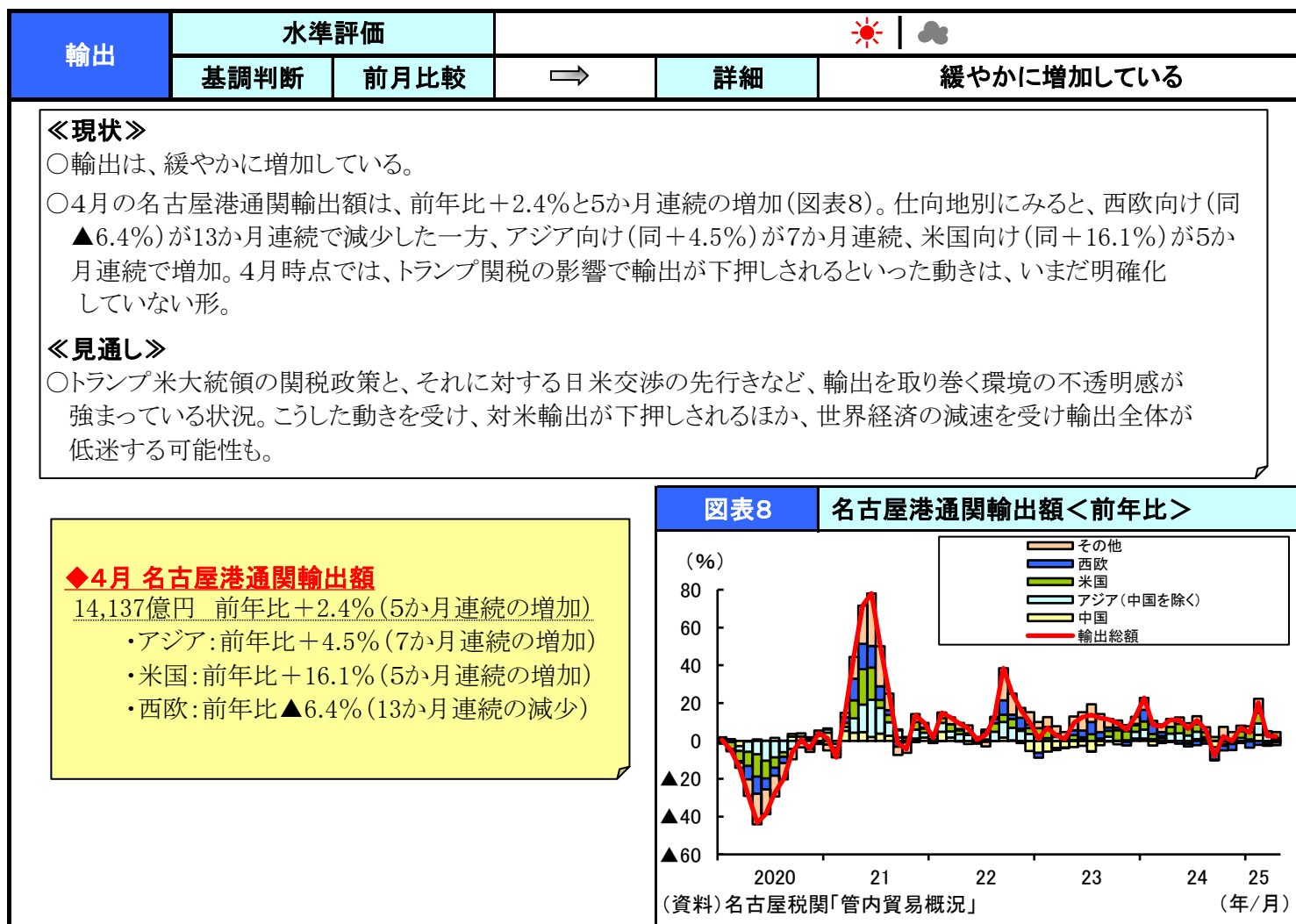
倒産件数・負債総額＜前年比＞

年/月	倒産件数 (左目盛)	負債総額 (右目盛)
2020	10	50
2021	15	100
2022	20	150
2023	25	200
2024	52	6,468
2025	10	50

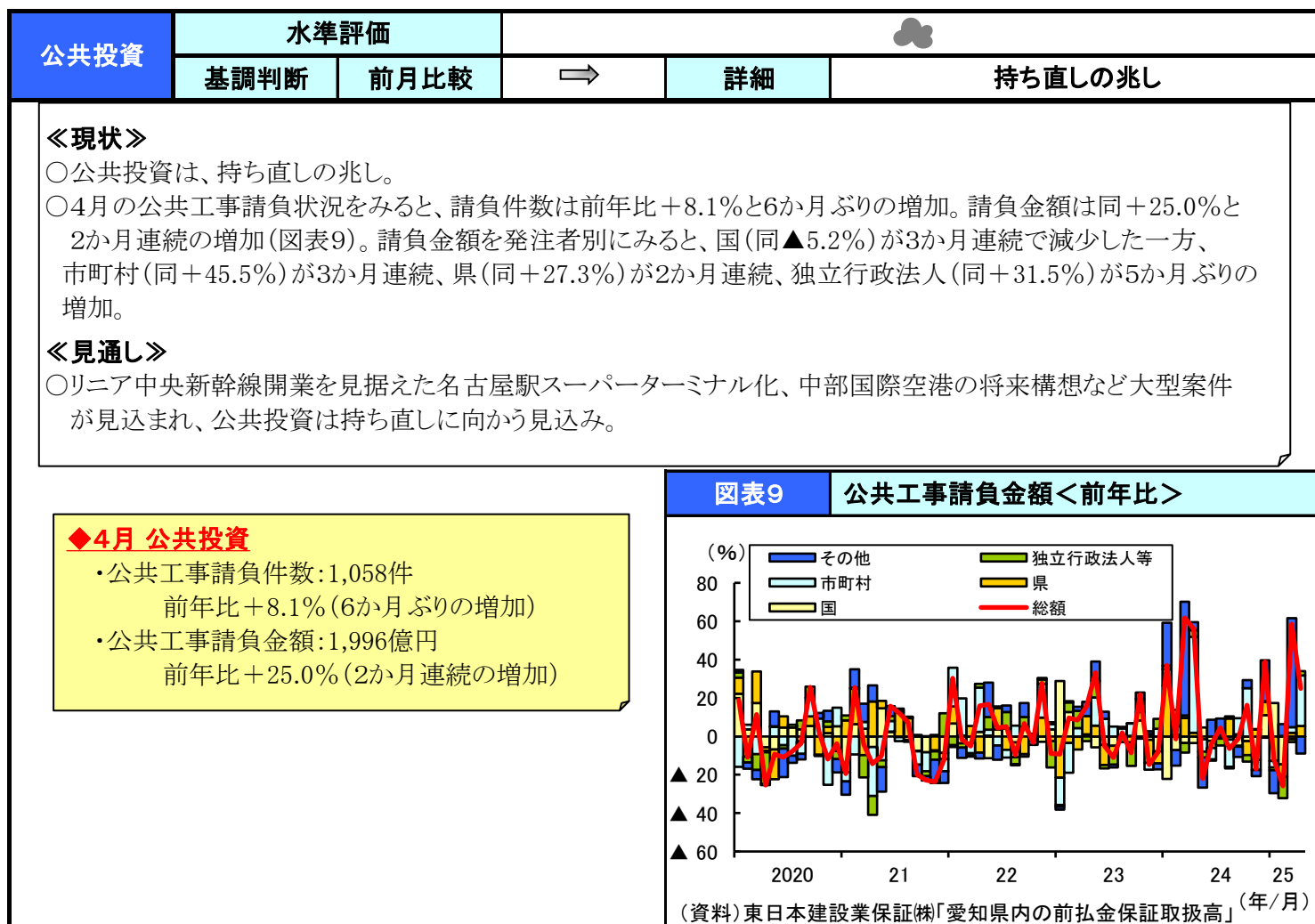
(資料)㈱東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

(注)負債総額1,000万円以上

4. 個別部門の動向: 海外部門



5. 個別部門の動向: 公共部門



県内経済トピックス

(2025年4月)



1. 「名岐道路」の事業化が正式決定 名古屋高速が一宮木曾川ICまで延伸へ

- 4月1日、国土交通省中部地方整備局は名古屋、岐阜の両都市圏を結ぶ「名岐道路」の一宮～一宮木曾川インターチェンジ(IC)間の6.9キロの新規事業化を正式決定し発表した。2025年度予算に建設に向けた調査設計費1億円を盛り込んだ。事業の完了時期は未定。
- 同局によると、名古屋高速の一宮東出口から、東海北陸自動車道の一宮木曾川ICまでを、国道22号に並行して高架でつなぐ計画。片側2車線の自動車専用道路とする。
- 完成すると、名神高速と東海北陸自動車道が合流し、交通量が多い一宮ジャンクション(JCT)や朝夕の混雑が激しい国道22号の渋滞緩和が期待できる。

2. ららぽーと安城がグランドオープン 愛知県内3か所目

- 4月18日、愛知県安城市の商業施設「三井ショッピングパーク ららぽーと安城」がグランドオープンした。式典では地域の経済振興に期待の声が上がり、ららぽーと安城オペレーションセンターの岡沢雅孝所長は「地域の人と手を携え、愛される施設づくりを目指す」と述べた。
- 施設は三井不動産が手掛ける。鉄骨造り4階建てで、1～3階に県内初出店の31店舗を含む215店舗が入る。約3,800平方メートルの屋上には遊具46台が並ぶ広場があり、その半分以上に屋根が設けられている。
- 県内のららぽーとは、名古屋市の名古屋みなとアクルス、東郷町の愛知東郷に続いて3か所目。安城の隣の同県岡崎市では、今年秋、県内初となる同社のアウトレット施設が開業予定。

3. 愛知県、中小企業の外国人材受入支援新拠点を開設

- 4月22日、愛知県は県内中小企業の外国人材の受け入れを支援する窓口を4月30日に開設すると発表した。企業や外国人からの相談に対応するほか、企業に対して専門家による伴走支援、採用準備から定着まで段階に応じたセミナーなどを開く。外国人向けの日本語研修も行う。
- 「あいち外国人材受入サポートセンター」を名古屋駅直結のJRセントラルタワーズ内に設ける。相談員が常駐し、利用料は無料。人材を呼び込むため、合同企業説明会なども開く計画。
- 愛知県は外国人労働者が東京都に次いで全国2番目に多く、製造業を中心に人手不足を補う存在となっている。大村秀章知事は同日の記者会見で「外国人材の受け入れを検討している企業、県内就職を希望する外国人はぜひ利用してほしい」と述べた。

(出典) 日本経済新聞、中日新聞、時事通信社

景 気 指 標

三十三総研
2025/5/30

<愛知県>

(注) ()内は前年同期(月)比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2023 年	2024 年	2024年			2025年	2024年	2025年			
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	12月	1月	2月	3月	4月
大型小売店販売額	(2.2)	(3.7)	(4.5)	(2.7)	(1.8)	(2.8)	(2.5)	(3.9)	(1.8)	(2.8)	
百貨店	(11.1)	(6.8)	(12.1)	(3.6)	(2.1)	(1.4)	(1.6)	(3.4)	(0.1)	(0.6)	
スーパー	(▲ 1.1)	(2.3)	(1.5)	(2.3)	(1.7)	(3.5)	(2.9)	(4.1)	(2.5)	(3.9)	
新車登録・販売台数(台)	226,984 (20.1)	210,640 (▲ 7.2)	46,085 (▲ 2.6)	55,355 (▲ 3.5)	53,452 (▲ 3.9)	62,937 (12.9)	16,005 (▲ 9.4)	19,157 (16.7)	20,743 (20.8)	23,037 (4.0)	14,754 (3.2)
有効求人倍率(季調済)	1.35	1.28	1.29	1.26	1.26	1.29	1.26	1.27	1.29	1.32	
新規求人倍率(季調済)	2.40	2.36	2.37	2.34	2.35	2.47	2.28	2.41	2.57	2.41	
名目賃金指数(調査産業計)	(1.6)	(1.8)	(1.2)	(2.7)	(2.7)		(3.0)	(0.9)	(2.3)		
実質賃金指数(同)	(▲ 2.0)	(▲ 1.3)	(▲ 1.9)	(▲ 0.7)	(▲ 1.3)		(▲ 1.8)	(▲ 4.0)	(▲ 2.2)		
所定外労働時間(同)	(▲ 0.4)	(▲ 5.8)	(▲ 6.5)	(▲ 6.6)	(▲ 5.9)		(▲ 6.9)	(2.9)	(▲ 0.9)		
常用雇用指数(同)	(▲ 0.4)	(1.0)	(1.2)	(1.2)	(0.9)		(0.8)	(1.3)	(1.2)		
新設住宅着工戸数(戸)	54,685 (▲ 7.7)	56,119 (2.6)	13,367 (▲ 0.6)	14,274 (▲ 3.3)	13,689 (▲ 1.0)	14,017 (▲ 5.2)	4,811 (13.8)	3,632 (▲ 23.4)	3,727 (▲ 11.7)	6,658 (14.3)	
鉱工業生産指数	(8.6) -	(▲ 8.8) -	(▲ 6.8) < 1.9>	(▲ 5.7) <▲ 2.3>	(▲ 3.2) < 4.6>		(▲ 4.6) <▲ 1.1>	(6.8) < 3.0>	(4.7) <▲ 2.5>	(2.3) <▲ 1.2>	
企業倒産件数(件)	532	611	146	171	155	160	48	49	57	54	52
(前年同期(月)差)	(162)	(79)	(18)	(50)	(11)	(21)	(▲ 3)	(2)	(19)	(0)	(11)
民間非居住建築物着工床面積(千㎡)	3,527 (▲ 4.4)	2,735 (▲ 22.4)	792 (▲ 29.2)	669 (▲ 0.5)	726 (▲ 39.9)	918 (67.8)	247 (24.8)	156 (11.4)	228 (▲ 15.6)	533 (291.0)	
名古屋港 輸出(億円)	151,877 (8.4)	161,707 (6.5)	39,759 (9.4)	40,999 (2.6)	43,356 (3.2)	40,911 (8.8)	15,313 (7.0)	11,585 (4.3)	14,699 (20.2)	14,627 (2.6)	14,137 (2.4)
公共工事請負金額(億円)	5,502 (3.7)	6,346 (15.3)	2,739 (17.4)	1,435 (▲ 0.4)	921 (11.6)	1,584 (26.6)	273 (38.8)	232 (▲ 12.3)	187 (▲ 25.8)	1,165 (58.6)	1,996 (25.0)
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	(3.0)	(2.7)	(2.5)	(3.1)	(3.1)	(3.5)	(3.7)	(3.7)	(3.3)	(3.4)	(3.5)

<東海3県(愛知・三重・岐阜)>

	2023 年	2024 年	2024年			2025年	2024年	2025年			
			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	12月	1月	2月	3月	4月
大型小売店販売額(全店)	(1.6)	(2.7)	(3.4)	(2.0)	(0.7)	(1.9)	(1.5)	(2.7)	(0.9)	(2.1)	
同 (既存店)	(0.9)	(3.2)	(4.0)	(2.6)	(1.8)	(0.8)	(2.5)	(4.1)	(1.6)	(2.6)	
新設住宅着工戸数(戸)	73,459 (▲ 8.3)	72,757 (▲ 1.0)	17,475 (▲ 3.1)	18,570 (▲ 7.4)	17,880 (▲ 1.8)	18,545 (▲ 1.5)	5,997 (2.9)	4,986 (2.4)	5,036 (2.4)	8,523 (4.1)	
有効求人倍率(季調済)	1.39	1.31	1.32	1.29	1.29	1.31	1.29	1.30	1.30	1.32	
新規求人倍率(季調済)	2.39	2.35	2.35	2.32	2.34	2.41	2.27	2.40	2.48	2.36	
鉱工業生産指数	(3.5) -	(▲ 2.8) -	(▲ 2.8) < 2.9>	(▲ 2.7) <▲ 0.7>	(▲ 1.4) < 3.5>	(6.9) < 1.5>	(▲ 2.7) < 0.6>	(8.6) < 4.0>	(7.4) <▲ 3.6>	(4.9) < 1.0>	
企業倒産件数(件)	799	868	209	240	223	220	74	70	77	73	66
(前年同期(月)差)	(265)	(69)	(19)	(50)	(7)	(24)	(0)	(6)	(21)	(▲ 3)	(8)
域内外国貿易 純輸出(億円)	88,899	99,401	24,173	23,553	28,213	23,393	10,061	3,915	9,890	9,587	9,042
輸出(億円)	212,571 (11.5)	225,311 (6.0)	55,687 (9.5)	56,314 (10.7)	60,353 (0.7)	56,625 (6.9)	21,327 (4.4)	16,021 (4.5)	20,250 (14.7)	20,355 (1.9)	19,802 (1.0)
輸入(億円)	123,672 (0.1)	125,911 (1.8)	31,513 (8.1)	32,761 (12.4)	32,140 (▲ 2.2)	33,232 (12.7)	11,266 (5.7)	12,106 (16.5)	10,360 (11.0)	10,767 (10.2)	10,760 (▲ 5.1)